|  |
| --- |
| 　**櫻井　茂*Shigeru SAKURAI　　　　　ヴィオラ・ダ・ガンバ*** |
|  | http://www.ac.auone-net.jp/~assist/image6.jpg | 学習院大学文学部心理学科及び東京芸術大学音楽学部器楽科（コントラバス専攻）卒業。コントラバスを笠原勝二、吉川英幸、西田直文、江口朝彦の各氏に師事。また、芸大バッハ・カンタータ・クラブにおいて小林道夫氏の指導のもとバロック音楽の研究､演奏を行う。芸大卒業と同時に同管弦楽研究部非常勤講師に就任、コントラバス奏者として活動する一方ヴィオラ・ダ・ガンバ及び古楽解釈・演奏法を大橋敏成氏に師事しオリジナル楽器による演奏活動も開始する。1989年以降毎年渡欧しガンバをローレンス・ドレイフュス氏に師事。 またキャサリン・マッキントッシュ、ヤコブ・リンドベルイ、シェティル・ハウグザンらにアンサンブルの指導を受ける。独奏者として国内各地及びイギリス、アイルランド、ノルウェー、韓国、アメリカ等で活動。 ヘルムート・ヴィンシャーマン指揮　ドイツ・バッハ・ゾリステン、トン・コープマン指揮　アムステルダム・バロック・オーケストラ等ヨーロッパの合奏団の来日公演に出演。　1994年、Ｌ．ドレイフュス主宰のコンソート「PHANTASM」創設プロジェクトに参加、英国BBCラジオ３に出演。　2003年4月には「PHANTASM」の日本・韓国ツアーに参加、また12月にはロンドンのキングス・コレッジ チャペルにおけるマイケル・イーストの５声のファンタジアのレコーディングに参加する。ヴィオローネ奏者としては国内の主要な古楽アンサンブルに参加、バッハ・コレギウム・ジャパンでは「バッハ教会カンタータ全曲録音」のプロジェクトに参加し数多くの演奏会、CD録音、放送等に出演。また、2003年4月のバッハ・コレギウム・ジャパン アメリカ・ツアーではコントラバスと同時にマタイ・ヨハネ両受難曲においてヴァイオラ・ダ・ガンバ ソロを担当しニューヨーク カーネギー・ホールを始めとして全米各地で演奏。　「ヴィオラ・ダ・ガンバのソリストは秀逸」（ボストン・グローブ）、「このすばらしい演奏家の中から一人を選ぶと、櫻井茂はマタイ終盤、バスのアリアにおけるヴィオラ・ダ・ガンバのソロで軽やかな優しさと気品あるやわらかさで、死すべき者たちが望むに相違ない、極めて薄い翼にのせてイエスを天に送る」（ロサンジェルスタイムズ）と評される。東京芸術大学管弦楽研究部及び高知大学講師を経て、現在上野学園大学准教授。 |  |